



みなさんの暮らしとつながっています。

Vol.81

令和8年(2026年)

5月1日発行

はまた 議会だより

主な
記事

◆3月定例会議の報告

……
2~10

◆市民対談

浜田に残る手仕事
天然干しワカメ

……
12~13





令和8年

3月定例会議



今回はこれがポイント!



令和8年度浜田市一般会計予算 427億4000万円を慎重審議し可決!

3月定例会議では、まず市長から令和8年度の施政方針が示されました。議案の中で特に注目されたのは、浜田市カスタマーハラスメント防止に関する条例検討委員会設置に係る条例改正、浜田市美又温泉美肌観光拠点施設の指定管理者の指定、副市長及び教育長の選任などが挙げられます。

予算決算委員会では、主に691事業からなる一般会計をはじめ、国民健康保険などの特別会計や上下水道

などの公営企業会計の令和8年度当初予算を審議しました。中でも「社会福祉協議会助成事業」と「地域包括支援センター運営事業」については予算決算委員会において執行部の質疑の後に、議員間の自由討議を行い、さまざまな議論を重ねました。その結果、予算決算委員会から附帯決議案を提出することとなりました。3月定例会議最終日の本会議においても附帯決議を全会一致で可決しました。

議会注目事業の概要と着眼点



関係人口の拡大

関係人口 創出拡大事業

2,096万円

関係人口と継続的に関わる仕組みをつくり、担い手が不足している地域の活性化につなげる。令和8年度はデジタル技術を活用し、本市に貢献したいと思う人を増やす仕組みを構築するため、民間事業者への業務委託を行う。

着眼! 関係人口の増加により、地域の活力アップへつなげる。ふるさと納税・企業版ふるさと納税増額さらには定住者増加にも期待する。



公共施設利用

公共施設予約 システム管理事業

2,929万円

市民がスマートフォンなどを通じて市内公共施設の予約を行う管理システムを導入・管理することにより当該公共施設を利用する際の利便性向上を図る。

着眼! 一年を通して24時間いつでも予約状況を確認し、利用予約が可能となる。スマートロックなどの導入により鍵の受け渡しが不要となることやキャッシュレス決済との併用により市民の来庁回数が大幅に減る。また申請時のペーパーレスや市民の手続負担の大幅減に期待する。



地域福祉

社会福祉協議会 助成事業

1億2,416万円

地域福祉の推進を図ることを目的として社会福祉協議会へ助成する。

着眼! 人件費補助として、前年度から約2,300万円の増額がはたして適切な予算であるのか。

議会として次のとおり附帯決議を可決した。

- (1)人件費補助の積算根拠及び事業効果の明確化
- (2)事業別コスト構造及び人件費構成の透明化
- (3)事業の整理・統合など効率的な事業運営に向けた見直し



安全安心

カスタマー ハラスメント 防止対策事業

1,142万円

カスタマーハラスメント防止に関する条例検討委員会を設置し、条例制定を行う。市民や事業者のカスタマーハラスメント被害を受けない安全な環境を構築し、被害防止を図る。

着眼! 市議会としても、大きな社会問題と認識している。重要な行政課題と位置づけ、条例策定に向け後押しする。



教育・子育て支援

学校給食費 激変緩和対策事業

1,378万円

食材料費の高騰を踏まえ、令和8年度実施予定の学校給食費の引上げ改定に際し、食材の購入費を支援することで、保護者の負担軽減を図る。小学校は月額5,200円の補助。中学校は引上げ額の1/2相当額×給食提供食数。



中学校は国からの補助がなく、市の補助として改定に伴う引上げ額の1/2相当額を食材購入に充てる。今後、中学校の補助をどう拡充していくかが期待される。



健康医療対策

地域包括支援 センター運営事業

9,770万円

高齢者の生活に関する総合相談、サービス調整機能などを担う地域包括支援センター運営事業を委託。



令和8年度は前年度と比較して大幅な増額となり、次のとおり附帯決議を可決した。

事業評価、成果指標を明確にする必要があるため、以下の事項に取り組むこと。

- (1)相談支援体制、地域ケア会議の運営状況及び訪問活動等の実績整理と事業評価
- (2)地域包括センターの機能強化に向けた運営方針及び成果指標の明確化



観光施設整備

ふるさと体験村 改修事業

1,307万円

ふるさと体験村の食堂および宿泊施設の桑田、箸立て、ログハウスへのエアコン設置工事、エアコン設置に関わる電気設備の改修工事を実施する。



近年の猛暑に対応し、向こう3年間の集客目標の達成に向け整備を実施する。令和8年度早々に入札手続を開始し、まずは食堂から着工する予定。集客の増加に期待する。



スポーツ振興

国民スポーツ大会 競技会場整備事業

1億4,855万円

令和12年度に開催予定の第84回国民スポーツ大会の競技会場となる市有施設について競技施設基準を満たすとともに安全性・利便性を高めるための改修などを行う。



浜田市陸上競技場・三隅中央公園陸上競技場、サン・ビレッジ浜田スポーツ広場、浜田市野球場、三隅中央公園市民野球場の5ヶ所が改修の対象となり、トイレをユニバーサルデザイン化し、各施設の競技エリア整備で国民スポーツ大会以降も使えるよう整備する。



駅周辺整備

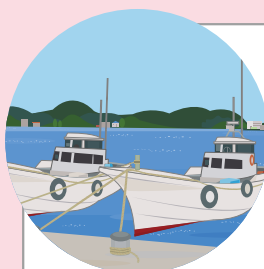
浜田駅周辺 グランドデザイン 策定事業

617万円

総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、浜田駅周辺エリアの目指す将来像や整備イメージなどを盛り込んだグランドデザインを策定する。



グランドデザインの検討過程において、市民や事業者などと対話や議論を重ねることで、駅周辺エリアの目指すべき方向性や将来的な整備イメージが明確になるとともに、策定後は共通の目標に向かって官民一体となったまちづくりが可能となる。



水産業振興

浜田漁港養殖事業 可能性調査・研究 事業

3,209万円

令和8年度中に実施されるプロキシマー(株)の事業用地最終候補地選定の判断材料となる、水量、水温、水質などを海水井戸の試掘を実施し、調査・研究する。



現在、プロキシマー(株)が協定を締結している自治体は当市のみで、海や漁港が近く、すでに整地済みである瀬戸ヶ島埋め立て地を最終候補地として選定されることに期待する。



令和8年度浜田市一般会計予算 に対し、附帯決議を可決！

令和8年度一般会計予算は、まず、議長を除く全議員で構成される予算決算委員会にて事業ごとに詳細な審査を行い採決し、その後、本会議で全議員により採決を行う流れです。

予算決算委員会での審査において、「社会福祉協議会助成事業」「地域包括支援センター運営事業」について議員間での自由討議を行い、さまざま議論を重ねました。その結果、一般会計予算を可決する方向になりましたが、附帯決議案を全会一致で予算決算委員会から提出することとなり、3月定例会議最終日の本会議においても、同内容の附帯決議を全会一致で可決しました。

議案第23号 令和8年度浜田市一般会計予算に対する附帯決議の内容(全文)

議案第23号 令和8年度浜田市一般会計予算において、市民に対する説明責任を果たし、地域福祉施策の更なる充実をはじめとした市民福祉の増進が図られるよう、以下の事項に配慮し、予算を執行されるよう強く求める。

1 社会福祉協議会助成事業について

社会福祉協議会は、本市の地域福祉を推進する上で重要な役割を担う団体である。一方で、近年その役割の拡大に伴い、市からの補助及び委託事業も増加しており、事業の透明性、説明責任及び成果の明確化がこれまで以上に求められている。

令和8年度当初予算においては、人件費補助の拡充により前年度と比較して大幅な増額となっており、補助の妥当性及び事業効果を明確にする必要があるため、次の事項に取り組むこと。

なお、増額分22,348千円については、次の事項を整理し、議会へ説明し、議会の理解が得られた後に執行すること。

- (1) 人件費補助の積算根拠及び事業効果の明確化
- (2) 事業別コスト構造及び人件費構成の透明化
- (3) 事業の整理・統合など効率的な事業運営に向けた見直し

2 地域包括支援センター運営事業について

地域包括支援センターは、高齢者の総合相談及び地域包括ケアの中核機能を担う重要な役割を有しており、本事業は、当該センターの円滑かつ効果的な運営を図るため、その業務を委託する事業である。

令和8年度当初予算においては、前年度と比較して大幅な増額となっており、事業評価及び成果指標を明確にする必要があるため、次の事項に取り組むこと。

なお、増額分11,176千円については、次の事項の整理及び議会へ説明の後、慎重に執行すること。

- (1) 相談支援体制、地域ケア会議の運営状況及び訪問活動等の実績整理と事業評価
- (2) 地域包括支援センターの機能強化に向けた運営方針及び成果指標の明確化

以上、決議する。



附帯決議

議案(予算など)に対して、議会としての意見や要望を表明する決議です。



議案等の賛否の公開



3月定例会議で賛否が分かれた議案は以下のとおりです。各議員の賛否や、請願、陳情審査結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和8年 3月定例会議

市長提出議案 38件 議会提出議案 2件

議案番号等	議案名等	賛成	反対
議案第15号	弥畝辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	20	1 森谷
議案第23号	令和8年度浜田市一般会計予算	20	1 森谷



浜田市議会HP

※請願の賛否については浜田市議会のホームページにて確認ください。

請願・陳情について審査しました

請願 22件、陳情 2件

結果は浜田市議会ホームページからご確認ください▶



浜田市議会HP



HAMADA

市政を問う

21人が個人一般質問



(掲載は発言順)

岡山 令子

市民に支持
され続ける事業へ



動画

Q ふるさと納税と関係人口施策との連携は。

A ふるさと納税は寄附を通じて浜田市を知る機会でもあり、今後も関係部署と連携しながら取組を進める。

Q 浜田郷土資料館の整備にあたり、浜田市検定のような取組を行う予定はあるか。

A はじめにハード面の整備に取り組むが、今後の施設価値を検討する中で参考とさせていただく。

Q あいのりタクシーを運用している団体同士の情報交換の機会はあるか。

A 現在は個別相談で対応しており、そのような機会は設けていないが、今後検討していく。

《その他の質問項目》

・浜田応援団

芦谷 英夫

新たな取組で
市の顔づくり
元気づくりを



動画

Q 石見神楽をどう生かし、観光の推進体制をどう造るのか。

A 石見神楽の舞殿整備構想案に市として役割を果たし、令和8年度は観光協会の体制を強化し観光推進体制を再構築したい。

Q 小売業の減少、購買力の流失への対応は。

A 5年間で商品販売額11%、事業所数21%減少。魅力あるフード店やファッション店が求められ起業が進むよう支援したい。

Q 国民スポーツ大会の開催に向けてどう進めるか。

A 令和8年度に準備委員会を設置し、競技団体に参画いただき団体の育成を支援したい。

《その他の質問項目》

・市政の市民参加・地域福祉推進
・小中学校運営他

大谷 学

理数教育
充実は
職業選択の幅を広げる



動画

Q 令和3〜7年度まで教育方針の中にあった「理数教育の充実」の記載が令和8年度にはない。目的を達成したのか。

A 目的を達成したわけではない。今後も理数教育の充実に努めます。

Q 国は大学における理系学部を増設や高校普通科の理系志望者の増加に向けて予算を投じる。ITなどの科学技術の進歩により文系的職業は減少する傾向である。中学校の現場は認識しているか。

A 認識できていると思う。職業選択の幅を狭めないように理数教育の充実に努める。

《その他の質問項目》

・上水道事業の有収率
・新規の5歳児検診
・市民推薦による「浜田遺産」制度の検討の提案

佐々木豊治



動画

より多くの「校内フリースクール」拡充配置を

Q 不登校児童・生徒の居場所として試行的に行っている「校内フリースクール」について、拡充が示されているが、より多く配置する考えは。

A 現在設置している小学校2校を含め、小学校6校、中学校4校、計10校に拡充する予定である。教室に入りづらさを感じている児童・生徒が、自分のペースで学習できる環境をより整備し、学びの場の確保に努める。

《その他の質問項目》

- ・危険空き家対策
- ・郷土資料館建て替えと石見神楽保存拠点施設整備
- ・県制度を活用した「緊急猟銃制度」に伴う射撃練習支援の取組
- ・外国人の日本語学習

小川稔宏



動画

次世代へつなぐ核兵器廃絶と平和への決意

Q 国際情勢が不安定化するなか、非核自治体宣言を理念にとどめず、平和や核兵器問題を次世代へどう引継ぐのか。

A 日本国憲法の平和理念に基づき核兵器廃絶平和都市宣言を制定。戦争の悲惨さや平和の尊さを平和教育で学び、昨年は広島市での平和学習に13名が参加し交流を行った。

Q 被爆者の高齢化が進むなか、被爆体験や核兵器廃絶への思い、被爆2世・3世の声を次世代へどのように伝えていくのか。

A 参加者の多くが「被爆体験の話が心に残った」と感想を寄せている。今後も事業を定期的に計画し、被爆者や被爆2世・3世の方々の平和への思いを子どもたちに継承していきたい。

今田実延



動画

米軍機飛行訓練爆音対策を問う！

Q 米軍機の飛行訓練の爆音により、旭の子どもたちは耳をふさぎ、恐怖に怯える。こんな町に将来住みたいと思うだろうか。この町で子育てをしたいと思うのだろうか。頻度・騒音レベル・被害状況は。

A 前年より減少したものの高水準が続いており、住民生活への影響は看過できない状況にある。

Q 訓練実施時の市民への周知方法は。

A 飛行訓練を事前に把握し、市民へ周知することは困難な状況にあるが、今後とも低空飛行の中止など、継続的に要望活動を行っていく。

《その他の質問項目》

- ・旭中学校防音対策
- ・セキユリテイ対策
- ・ごみの処理他

串崎利行



動画

みどり認定の取得者は？

Q 環境に配慮した農業に取り組む農家を認定する「みどり認定」を取得した農家は何件か。

A 県内では、317名が認定されており、浜田市内は1名。

Q 全国的に認定者数は増えている。増えた要因は、来年度から導入する新たな直接支払制度で同認定の取得を交付要件にする方針によるものである。市も早急に増やすべきだ。

A 農業者の意向や地域の実情を踏まえながら、認定取得者の増加に取り組んでいく。

《その他の質問項目》

- ・有機農業の拡大
- ・国際女性農業従事者
- ・小中学生の不登校
- ・給食調理のごみや食べ残しの堆肥化
- ・太陽光パネル破棄問題

遠藤 祐之

生活困窮者への物価高騰支援を



動画

Q 物価高騰に向け保護費の増額の考えは。

A 令和7年10月から、特例加算として、世帯人員一人当たりにつき月額1,500円を上乗せしている。

Q 一人親世帯の生活困窮者もいる現状で、特別な支援の考えは。

A 令和8年10月から、生活扶助費の特例加算の額を1,000円引き上げ世帯人員一人当たりにつき、月額2,500円とする内容が政府予算案に盛り込まれている。

Q 石見小学校営繕要望への対応について。

A 新校舎完成が遅れることを念頭に、適切な維持管理に努める。

《その他の質問項目》

・保育士の処遇改善のその後

足立 豪

消費税に苦しむ中小企業への支援策を！



動画

Q 三隅・益田間のバイパス開通による消費流失は浜田の事業所に多大な影響があると考えますが市の認識は。

A 財政的にも大きな影響はないと考える。

Q 事業者は赤字でも消費税は納付義務があるが、売上減少は死活問題である。市民だけでなく事業者にも寄り添った支援策を講じる必要があるがその考えがあるか。

A 物価高騰が適正に価格転嫁できていない現状のなか、市民や事業者のニーズを把握し、地域経済に向き合い与えられた財源の中で前向きに検討していきたい。

《その他の質問項目》

・浜田市社会福祉協議会の存在意義

・包括支援センターの本来機能

西田 一平

市役所(本庁)前の広場を有効活用しよう！



動画

Q 本庁舎前の屋外広場にてキッチンカーや野菜・鮮魚販売などマルシェを開催することは可能か。

A 事業者からの提案や申し出があれば施設利用許可を検討できる。

Q 電気や水道といった設備を貸してもらうことは可能か。

A 電気や水道の提供は行わないが、トイレの利用に関しては問題ない。

Q 駐車場が限られているがどこまで考慮するのか。

A 庁舎は市民への行政サービス提供の重要施設のため来庁者優先で検討すべきである。

《その他の質問項目》

・市役所の昼休み分散取得

・浜田港四季のお魚認証店制度

森谷 公昭

市民に対応することこそ最も重要な仕事



動画

Q 災害や選挙対応も含め市民対応は公務の範囲であり、特定の対応を切り分けるのはおかしいのではないか。さらに、証拠となる録音も確認せず判断しているのではないか。

A 同一内容の質問が窓口やメール等で繰り返され、職員に相当の負担が生じていると認識している。時間を回さなければいけない他の業務もあると考える。

Q 通常公務の範囲内ではないのか。また証拠も見ずに決めつけているようにしか見えない。説明も不十分ではないか。

A 対応や判断は基準に基づき適正に行っている。今後も必要な説明に努めていく。

村木 勝也



動画

リハカレ島根との平時からの連携強化

Q 福祉避難所でもあるリハビリテーションカレッジ島根には、その知識をもった職員や学生がいる。当該学校との連携は、災害時だけではなく、平時において、避難行動計画や避難所運営マニュアルにリハビリテーションの視点を入れた監修や意見を伺うこと。さらには、避難訓練を一緒に行うなどの関係があってもいいのではないか。

A 専門的な知識を有する学校と協定を締結しているので、そうした専門的な視点からの意見などもいただきながら、現在の福祉避難所マニュアルの充実を図っていく。

《その他の質問項目》

- ・ 消防団車庫AED設置
- ・ 消火格納箱の再設置
- ・ 防災ヘリの場外離着陸

西田 清久



動画

移住・定住・少子化対策をオール浜田で！

Q 移住者獲得に向けた今後の施策は。

A 従来の施策に加えて、一定期間本市に滞在する事業を実施することで、関係人口の獲得や移住につなげたい。

Q 令和7年度の出生数が極めて減少している。市としての新たな独自対策の取組は。

A 新たな対策として、こども誰でも通園制度や5歳児検診の実施、また、産後ケア事業の拡充や子ども医療費の高校生年代までの完全無償化などに取り組む。

《その他の質問項目》

- ・ 浜田市のドローン活用
- ・ 浜田市の歩きたくなるまちづくり施策
- ・ 浜田郷土資料館建て替え整備

笹田 卓



動画

市長は浜田の未来像をどう描くのか？

Q 漁業再生を市政の柱とするが、何を転換点とし、具体的にどのような施策で水揚げ回復を図るのか。

A 水揚げ増大と付加価値向上を両立させる取組を進め、浜田の漁業の持続的発展につなげる施策を推進する。

Q 駅前整備や三桜酒造跡地を中心市街地の中でどのような役割を担う拠点として位置付けるのか。

A 市民意見を踏まえた活性化につながる機能導入や空間整備を検討する。

Q 学校統合と給食施設再編の判断基準は何か。

A 子どもの教育環境を最優先とし、将来を見据えた適正規模への再編を検討する。

沖田 真治



動画

メガソーラー計画のリスク認識と行政判断

Q 浜田ゴルフリンクスにおける残置森林などの管理に関する誓約書の内容は現在でも有効か。

A 所有権や利用権が譲渡された場合でも、誓約事項は権利を譲り受けた者へ継承され、現在も残置森林などへの制約は有効である。

Q 令和3年8月に後野町の太陽光発電所からの雨水により周辺の田畑が、実際に冠水した過去の事例を踏まえ、今後、浜田ゴルフリンクスにおける計画に対し、どのように対応する考えなのか。

A 太陽光パネル設置により浸水係数や流水係数が変化し、調整池や排水設備の不足が生じる恐れがある。今後、洪水や土砂被害のリスクに十分配慮した設計となるよう、関係機関と連携し適正に指導する。

岡本 正友



動画

命を守る 初期消火体制への 取組は？

- Q** 住宅密集地域における初期消火体制及び避難体制の課題は。
- A** 住宅密集地は家屋が隣接し延焼の危険性が高い。特に高齢化が進む地域では初期消火や迅速な避難行動が遅れが生じやすいと認識している。市内でも過去10年で12人が火災により亡くなっており、その大半が65歳以上であることから、高齢者の被害防止は喫緊の重要課題である。
- Q** 今後の対策は。
- A** 日中夜間を問わず地域ぐるみでの初期消火体制の確立と、要支援者を含めた避難支援体制の強化に取り組み。通報訓練や消火訓練の実施、自主防災組織との連携強化を通じ、地域全体の防災意識向上を図る。

柳楽 真智子



動画

必要な人に 必要な支援が届く 施策を

- Q** 今回もプレミアム付き商品券の販売をされる。すべての世帯に行きわたるよう、配布にしたいと要望してきたが、販売とした理由は。
- A** 市民生活支援と市内事業者支援を目的としている。短期的に準備ができ、いち早く支援が可能となる販売とした。
- Q** 全世帯に配布する自治体もある。金額設定によって販売と同程度予算で配布可能では。
- A** 1世帯当たり9千円、1人当たり5千円の配布で、現在の予算と同程度と見込んでいる。
- Q** 物価高騰が大変な市民への支援として、一番効果的な方法をどう検討するのか。
- A** 市として総合的に判断し、最も効果上がる支援を検討していく。

川神 裕司



動画

目指せ！ 世界に誇る 石見神楽の郷

- Q** 石見神楽関連産業に関して模倣品が出てくるのが危惧されている。石見神楽・神楽産業の特性や権利を守るための「団体商標」やブランド保護の検討状況は。
- A** 地域団体商標および意匠登録状況について「石見神楽」の登録はない。この制度活用は本来、民間事業者が主体で取り組むものだが、行政としても支援の在り方を検討する。
- Q** 石見神楽保存・伝承拠点の必要性は、今後示される「基本構想」を尊重しつつ市民の意見を聴き進めるとのこと。例えば「市民フォーラム」という形式が有効と思うが。
- A** 「市民フォーラム」を含め広く市民の意見を頂戴できる手法を今後しっかりと検討していく。

戸津川 美二



動画

少子化を 見据えて、早期の 学校環境の整備を

- Q** 石見小・松原小・三階小の現在の各3校の児童数は。
 - A** 令和7年5月1日現在で石見小299人、松原小99人、三階小205人、合計603人となる。
 - Q** 6年後の各3校の児童数は。
 - A** 石見小228人、松原小97人、三階小183人、合計508人。なお校区外通学等により誤差が生じる可能性がある。
 - Q** 各3校の建築年は。
 - A** 石見小は昭和36年、松原小は昭和50年、三階小は平成2年である。
 - Q** 小学校の統廃合の考え方は。
 - A** 文科省は学級数の標準規模を各学年2から3学級としており、教育委員会としては、2学級以上を理想的としている。
- 《その他の質問項目》
・若者支援ファンド事業他

花田 香

あらゆる
場面で子どもに最善の
利益を！



動画

- Q** 幼児教育センターの研修の実施について。
- A** 訪問の依頼を受け、園内研修に関わる。また月2回「子どもを語る会」として保育士同士で事例研修の場を設け支援者同士をつなぐ役割を担っている。
- Q** 関係機関とのコーディネートは。
- A** 幼小連携・接続のため合同研修を行い、お互いの理解が進むように努めている。また、発達の専門機関につなぐ役割も担う。
- Q** 子どもの文化のおよび芸術的体験の現状は。
- A** 学校の芸術鑑賞が音楽に偏っている。今後は舞台劇鑑賞など多様な文化や芸術に触れる機会の創出に努める。

川上 幾雄

産業政策に
おける建設業の
位置付け



動画

- Q** 私たちの生活インフラを支えるといえる建設業も、多くの課題を抱えている。この建設業を浜田市の産業政策においてどのように位置付けるか。
- A** 地域の安全・快適・便利な暮らしを支える重要な産業であるとともに、雇用の創出や地域経済の活性化にも大きく貢献されていると認識している。また、災害対応や除雪作業などの場面では、市民の安全・安心を担う重要な役割を果たしていると考えている。
- Q** 工場・商業施設・道路・港湾・上下水道・農業整備・林道など、産業に必要な基盤を構築するのは建設業ではないか。
- A** あらゆる産業の基盤を築く重要な産業と認識している。

ぎかいポストに

寄せられた意見への回答



①意見

予算決算委員会も

CATVで

放映して欲しい。



対応経過及び結果

予算決算委員会をはじめとした会議のケーブルテレビ放映につきましては、議会の情報公開を推進するうえで大変有意義な手法であると認識しております。

現在、本市議会では、一般質問や予算決算委員会のうち3月定例会議での予算審査の様様についてケーブルテレビで放映しております。

また、YouTubeにおきましては、すべての委員会等の会議の録画配信を実施し、市民の皆様にご覧いただける環境を整えております。



各まちづくりセンターに、ご意見・ご要望の用紙を「ぎかいポスト」とともに設置しておりますので、ご利用ください。ホームページからも受け付けています。

予算審議の充実と修正案の取組を報告

令和8年2月12日にローカル・マニフェスト推進連盟主催のオンライン勉強会が開催され、全国の自治体議員らが参加しました。テーマは、議会の監視機能強化と予算修正の実践です。

当日は、大正大学の江藤俊昭教授による課題提起のほか、各地の議会から実践報告が行われ、浜田市議会の事例発表の機会をいただきました。

浜田市議会の取組としては、予算と決算を連動させた審査体制や議会主導による事務事業評価、さらに令和7年度当初予算に計上された三桜酒造跡地活用関連事業に対する修正案が決ままでの経緯を紹介しました。また、修正は対立を目的とするものではなく、より丁寧な説明と



熟議を求める意思表示であることを共有しました。

今回の勉強会を通じ、議会が自ら学び、議論を深め、責任ある判断を積み重ねていくことの重要性を改めて認識しました。今後も市民の負託に応える議会運営に努めてまいります。

地域井戸端会 開催のお知らせ

昨年同様に地域井戸端会を開催することといたしました。今回も開催会場を全28会場とし、3常任委員会（総務委員会・文教厚生委員会・産業建設委員会）から委員を1人ずつ派遣します。

ご意見・ご要望をお伺いする時間を設けておりますので、暮らしの中での気づきやご意見をお聞かせください。いただいた意見は各委員会で今後の調査研究に生かします。また、委員会が総括的にまとめた内容を実施会場に掲載する予定です。たくさんのご参加をお待ちしております。



※日時・会場（実施時間は2時間）

浜	大麻まちづくりセンター	5/8(金)	18:30~
	長沢サブセンター	5/11(月)	18:30~
	長浜まちづくりセンター	5/12(火)	18:00~
	浜田まちづくりセンター	5/18(月)	18:30~
	美川まちづくりセンター	5/18(月)	18:30~
田	国府まちづくりセンター	5/18(月)	18:30~
	周布まちづくりセンター	5/21(木)	18:30~
	子育て世代包括支援センター	5/23(土)	10:00~
	石見まちづくりセンター	5/26(火)	18:30~
金	みどりかいかん	5/13(水)	18:30~
	久佐まちづくりセンター	5/15(金)	18:00~
	波佐まちづくりセンター	5/15(金)	18:30~
	今福まちづくりセンター	5/18(月)	10:00~
	小国まちづくりセンター	5/21(木)	18:30~
城	美又まちづくりセンター	5/21(木)	18:30~

旭	市木まちづくりセンター	5/14(木)	18:30~
	都川まちづくりセンター	5/16(土)	10:00~
	木田まちづくりセンター	5/19(火)	18:30~
	和田まちづくりセンター	5/25(月)	18:30~
	今市まちづくりセンター	5/28(木)	18:30~
弥栄	杵束まちづくりセンター	5/18(月)	18:30~
	安城まちづくりセンター	5/22(金)	18:00~
三隅	白砂まちづくりセンター	5/15(金)	18:30~
	井野まちづくりセンター	5/19(火)	18:00~
	三隅まちづくりセンター	5/19(火)	18:30~
	岡見まちづくりセンター	5/19(火)	18:30~
	三保まちづくりセンター	5/21(木)	18:30~
	黒沢まちづくりセンター	5/22(金)	18:30~

地域井戸端会ページ



伺いたい
テーマ

- 1 防災と避難行動計画について
～災害が起きたらどうしますか？
自分と家族を守るための行動～
- 2 子どもや高齢者の
暮らしの困りごと
- 3 100年先に残し
たい浜田の食

浜田に残る手仕事 天然干しワカメ

唐鐘漁港 漁師 金川良一さん・俊子さん

かねがわりよういち

しゅんこ



かつて唐鐘漁港では、春になると浜いっぱいワカメが干される風景が広がり、干し場の場所取りをするほどのにぎわいがありました。しかし今、その担い手はわずかとなり、後継者不足により存続が危ぶまれています。

浜田の風物詩ともいえるこの営みが危機に瀕している現状を、市民の皆さんに知っていただきたく、今回の市民対談のテーマとして取り上げました。

【インタビューアー 沖田真治・岡山令子】

「かつての浜田の風景はいま

——現在、天然の干しワカメを作っている軒数は？

良一さん 唐鐘漁港では2軒しかなくなりました。瀬戸ヶ島でもわずか1、2軒と聞いています。昔は多くの家で作られていて、浜では干場を確保するために場所取りをする程でしたが、今ではほとんど見られなくなりま

した。

——なぜ、ここまで減ってしまったのか？

良一さん 大きな理由はもうからない仕事だからです。自然が相手の仕事ですし、時期になれば、その日の早朝に収穫したワカメを製品にするまで作業を続けますので夜中までかかることもありまして、休日も十分にとれ

ないこともあります。だから誰も後を継がない。手間の割に収入が安定しないので、続けるのが難しいです。

「手間をかける理由— 天然干しワカメの価値

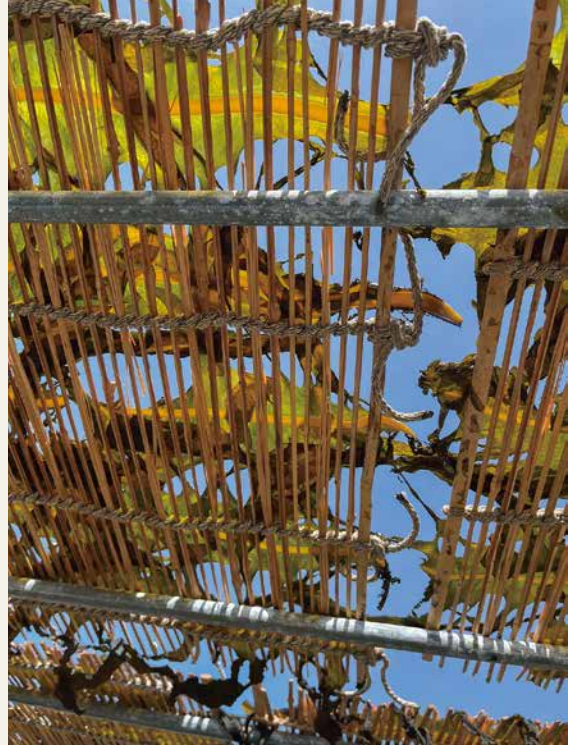
——効率化も進む中で、昔ながらの製法を続けている理由は？

良一さん 効率化できる部分もありますが、全ては任せられません。最後

は人の手で見て判断せんといいところが多く、そういう積み重ねで品質が決まります。

——かなり古い道具をお使いのようだが？





良一さん 昔から使っている道具が多く、50年近く使っているものもあります。中には先達から受け継いだものもあって、今でも大事に使っています。これは昔の漁師

が工夫して編み出したもので、今は作ることも少なく、壊れたら替えが利かん物もあるので、手入れをしながら使っています。

一手仕事を支える浜田の食

作業の中で、特に大切にしていることは？

良一さん やっぱり天候ですね。波や風、空の様子を見ながら、その日の状況を判断します。天日で干すことで、ワカメ本来の風味が出るので、そこは大事にしています。同じ晴れの日でも、この時期特有の黄砂が飛ばぐ日は作業を中止しますし、

風の強さや湿り気で仕上がりが変わるので、その日の天候の見極めが重要になります。

——ワカメが熱を持つとは？

良一さん 採ってきたワカメは、そのまましておくとなんとなく熱を持ってくるんです。呼吸をしているんでしょうね。だから時間を置かずに

処理せんといけんです。**俊子さん** 本当にすぐ熱を持つんですよ。だからその日のうちに、できるだけ早く処理しないとけない。

ワカメの風味を生かすため、刈り取ったワカメが港に揚がるのに合わせて、間を置かず作業に入ります。洗って、脱水

して、干すところまで一気にやる。まさに時間との勝負です。手伝いをしていたら皆さんと声を掛け合いながら動いています。

良一さん 手間はかかりませんが、こういうやり方で続けてきたものですし、この浜ではこれが当たり前の仕事なんです。

継承の帰路——理屈じゃ乗り越えられない壁

——現在、唐鐘漁港では2軒、瀬戸ヶ島町でもわずかとなっている中で、この状況をどう見ているか？

良一さん このままいけば無くなる可能性はあると思っています。自分の代で終わらせるわけにはいかん。と言う思いはあります。

——後継者については？

良一さん 現在、漁師を目標している人がいて、いま仕事を覚えている最中です。まだまだ未熟ですが一生懸命に頑張っています。続けていくには

それなりの覚悟もいる仕事ですので、決して楽な道のりではないと思いますが、経験を重ねながら、この仕事の勘どころを一つひとつ身につけてくれたらと期待しています。



◎プロフィール
かねがわりよういち かねがわしゅんこ
金川良一さん・金川俊子さん

唐鐘漁港所属の漁業者。一本釣り漁師、天然干しワカメづくりに取り組む。今年で漁師として40年目を迎える71才。

◎唐鐘の干しワカメの歴史

古くは浜田藩に献上されていた記録も残る唐鐘漁港の干しワカメは、当時の漁業者が手間を惜しまず、つくっていたことがしのべられます。中でも春先に収穫される柔らかく風味の良いものがかつては「殿芽」と呼ばれ珍重されていた。いまでも昔ながらの製法を守り続けている。現在は漁師を目指す後継者が仕事を学んでおり、その継承にも力を注いでいる。

浜田の食をこれからも

——干しワカメづくりがこれからも続いていくために必要なことは？

良一さん 続ける人が出てくることですね。そのためには、きちんと仕事として成り立つことが大事です。無理なく続けていける環境や仕組みづくりが必要だと思います。そうした土台があった上で、必要に応じた公的支援もお願いできればあり

がたいですね。支援に頼るだけでなく、自分たちの仕事として続けていく形をつくっていくことが大切だと思っています。最後にご覧になっている市民の皆さんへ一言 **良一さん** 干しワカメは体にいいものですし、おいしいですので、ぜひ食べてもらって、こういうものがあることを知ってもらえたらうれしいです。

活動レポート



総務委員会

☑ 逃げ遅れゼロを目指す 防災の取組を視察

防災・減災施策の充実を目的に、愛媛県松山市と今治市を行政視察しました。

松山市では「逃げ遅れゼロプロジェクト」として、自主防災組織率100%を達成し、防災士約1万2千人を地域・企業・学校など多様な分野で育成・配置しています。防災士資格取得に係る費用を市が支援する仕組みを設けるなど、担い手育成に力を入れていました。また、住民一人ひとりが避難行動を事前に整理する「マイ・タイムライン」、防災アプリの普及などにより、避難行動の実効性向上に取り組んでいました。

今治市では、ごみ処理施設「バリクリーン」を視察しました。同施設は、災害時には避難所や電力供給拠点として活用できる「フェーズフリー」の考え方を取り入れた施設です。官民やNPOが連携した運営体制も整えられており、地域防災拠点としての役割を果たしています。

委員会としては、地域防災の担い手となる人材育成や、防災教育を継続的に進める仕組みづくりの重要性を認識しました。今回の視察で得た知見を踏まえ、浜田市の防災・減災施策の充実に活かしてまいります。



文教厚生委員会

☑ こどもの権利の 推進について

文教厚生委員会が取り組む課題が決まりました。

委員会として取組課題の案を決めるにあたり委員一人ひとりが意見を持ち寄り、活発な議論を重ねた結果、「こどもの権利の推進について」で決定となりました。

こどもの権利に関する施策の現状および課題を把握するとともに、こどもが安心して意見を表明し、社会に参画できる環境づくりや、その意見を施策へ適切に反映する仕組みのあり方について調査研究を行い、あわせて、「こどもの権利条例」制定に向けた市の取組状況についても調査し、こどもの権利の推進および関連施策の充実を図ります。

今後の活動が楽しみな展開となっています。

産業建設委員会

☑ 浜田港振興会との意見交換会

当委員会の取組課題の一つである「浜田漁港・商港の活性化について」のテーマに基づき、島根県浜田港湾振興センター、浜田港振興会と意見交換会を行いました。まず初めに浜田港の概要説明から施設紹介、日韓国際定期コンテナ航路について、港湾計画、港湾計画に基づく整備などの説明を受けました。質疑後、実際に港湾内を見学しました。20フィート、40フィートコンテナが数多く整然と並べられており、出荷前の木材も多数並んでいました。

今後の取組については、目標である5,000TEU(※)を目指し、1,000TEU以上の規模の船が着岸できるよう計画を進め、定期便についても、週1回から2回に増便するための課題の共有も図りました。(※TEUとは20フィートで換算したコンテナ個数を表す単位)





委員会

議会広報広聴委員会

議会運営委員会

議会運営の充実と課題対応

議会運営委員会は、会議日程や案件など議会運営全般について協議し、円滑な運営のための意見調整を図っています。3月定例会議に向けて日程調整を行うとともに、付託された請願について審議しました。

また、1月20日に議員研修会「ハラスメントについて考える」を開催し、議員としての自覚と防止の重要性を再認識しました。本市議会では議員政治倫理条例によりハラスメント禁止を定めており、改めて行動を見直す機会となりました。

さらに、議会基本条例の見直しや運用についても協議を重ねています。今後も市民の声を踏まえ、議会運営の充実に努めてまいります。

令和8年度の活動概要決定

地域井戸端会およびはまだ市民一日議会について次のとおり協議し決定しました。

地域井戸端会(議会報告会)を5月8日から5月28日までの間で令和7年度と同様にまちづくりセンター等28か所で開催します。(詳細はP4をご覧ください)

はまだ市民一日議会は10月に開催予定です。詳細については、今後ホームページ、チラシ等でお知らせいたします。多くの市民の方の応募をお待ちしています。

また、1月27日に福岡県八女市、28日に愛媛県新居浜市と福岡県筑後市の各市議会から合計27名の方々が「はまだ市民一日議会」について行政視察に来られました。市民の方々から頂いた提言の活用方法を紹介するとともに浜田をPRするよい機会となりました。



議員定数等議会活性化特別委員会

「ハラスメント条例」設置議論を始動！

当特別委員会は昨年12月に設置後、3月現在時点で5回の委員会を開催いたしました。現在委員会の取り組む課題を3点に絞り精力的に議論を行っています。以下取組状況の概要をお知らせいたします。

(1)ハラスメント防止条例制定→市長部局は独自に「カスタマーハラスメント防止条例」制定を目指しており、特別委員会は「ハラスメント防止条例」制定を目指しています。市長部局と連携を取りなが

ら条例制定に積極的に取り組んでいきます。また3月定例会議において「浜田市議会議員政治倫理条例の改正」を提案し可決いたしました。
(2)議員定数適正化→2年後を目安に定数決定を目指すことを確認しました。
(3)議会活性化(申し送り事項)→「市への要望・提言に対する対応状況の検証」を中心に議論を開始します。



議会の責任を果たす!

議長 澁谷 幹雄



「市長・議長と語る会」で講演

令和8年2月6日に浜田市連合自治協議会主催の「市長・議長と語る会」に副議長と共に出席しました。この会は少なくとも平成20年には開催され地域との連携や意思疎通を図る上で重要な機会です。会の中では市長のあとに15分間の講演の時間を頂きました。

講演では「市民から信頼され、必要とされる議会を目指して」と題し、地方自治体の二元代表制と国会の首班指名を受けて内閣総理大臣がつくる内閣の仕組みとの違いや地方自治体においては市長部局に予算編成権と執行権が独占されている形の問題点を説明しました。いずれにしても人口減少が加速している現状を踏まえつつ、より一層市民のための政策を実行してもらうよう市長部局に対し、論戦を展開し議会としても「結果責任」が果たせるよう取り組みたいと考えています。

漁業実習出港式に参列

令和8年1月18日(日)に長浜岸壁で行われた浜田水産高校海洋技術科2年22名および専攻科20名(隠岐水産高校専攻科9名を含む)が太平洋ハワイ海域で行われるマグロはえ縄漁実習の出港式に参列しました。予定では2月20日にホノルルに入港して補給と研修、神奈川県三崎港でのマグロ水揚げ、3月14日に一連の実習を終えて帰港とのこと。水産都市浜田を支える人材として大きく成長されることを願い見送りました。



❖6月定例会議の予定

▼開会
6月18日(木)

▼一般質問
6月19日(金)～6月24日(水)

※変更になる場合があります。



ぜひ傍聴にお越しください

次回(Vol.82)は9月1日発行予定

はまだ議会 だより

mini



mini

も見てね!

4月1日の44号はご覧いただけましたでしょうか。miniは浜田市議会ホームページにウェブ版として掲載していますのでぜひご覧ください。

(次号は6月1日に発行予定)

表紙作品 紹介

オランダの11歳の子どもたちの共同制作作品です。「カンディンスキーのように」というタイトルで、20世紀を代表する画家カンディンスキーの抽象作品を題材に表現したものです。浜田市世界こども美術館では、6月からはじまる展覧会で、収蔵品のカンディンスキー作品を展示します。ぜひみなさまご来館ください。

編集委員

委員長	大谷 学
副委員長	岡山 令子
委員	西田 一平
	今田 実延
	遠藤 祐之
	花田 香
	戸津川 美二
	沖田 真治
	笹田 卓
	岡本 正友

(記 岡山令子)

＊あとがき＊
議会広報広聴副委員長として、前回の「はまだ議会だより」Vol.80から編集に携わっています。これまで市民の立場で読んでいた議会だよりにより手として関わることで、議会がどのように議論を重ね紙面づくりを行っているのかを改めて知る機会となりました。議会の議論や決定は市民生活に直結する大切なものです。だからこそ「議会で何が行われているのか」を分かりやすく伝えることが重要だと感じています。これからも読み手の視点を忘れず、市民の皆さまにとって分かりやすく、身近に感じていただける議会だよりづくりに取り組んでまいります。

◎この議会だよりは1部あたり31.50円(税込)でできています。